

日本復興に向けて、日本での学校に対して、完全無償化が決定!

全米で、世界で、 成功を実現させる 能力開発メソッド



PX2とは

PX2は最新の脳機能科学研究による科学的方法を用いて開発された、米国認知科学の成果を取り入れた能力開発プログラムです。米国オリンピック代表チームから、フォーチュン500社に名の挙がる名門企業、さらに各国の公教育の現場にまで幅広く取り入れられ、大きな成果を上げています。生徒の潜在能力を引き出し、より高い目標を実現させる、「成功をイメージする力」、「自ら考える力」を養います。

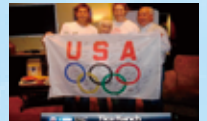
子どもたちがPX2を学ぶと…

自分の脳と心の働きを理解し、自分の「信念」がどのように形成されているかを知ること、お互いを尊重し、自由に向上し合える環境を、子どもたち自らが作り出していけるようになります。



2008北京オリンピック水泳米国代表チーム

かのマイケル・フェルプスを擁する水泳米国代表チームも、タイス氏の牧場に集まり、PX2の教育メニューをこなしました。その結果はご存知のとおり。前人未到の8冠を得たマイケル・フェルプスをはじめ、チームでは合計31個ものメダルを獲得する大成功を収めたのです。



[目標実現]



メキシコとラテン・アメリカ諸国の教育改革

前メキシコ大統領ビンセント・フォックス夫妻との協働により、メキシコとラテン・アメリカ諸国の教育の改革に取り組んでいます。貧困からの脱却は、教育による次世代のリーダーの育成であるとのビンセント・フォックス氏のビジョンに共鳴し、PX2を通じた青少年育成を展開しています。

知

[学力向上]



米ロサンゼルス ベターLAプロジェクト

ロサンゼルスコミュニティから暴力を追放し、安定化を目指す「ベター LAプロジェクト」はPX2プログラムを採用。子ども達をギャングの脅威から守り、凶悪犯罪の低年齢化を抑制、特に青少年同士の銃殺事件などの犯罪を激減させ、地域活性化の実現に貢献しました。

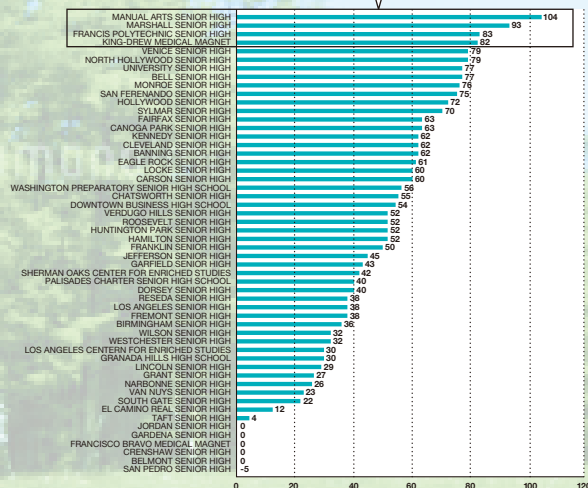


[暴力追放]

PX2は、人生の夢が見つかり、夢を実現させる能力開発プログラムです。

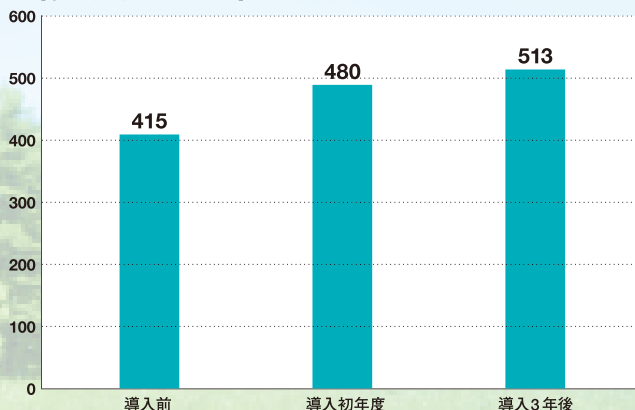
【ロサンゼルス マニュアル・アート・ハイスクールの事例】

【ロサンゼルス全地区54校における3年間の学力推移指標】



ロサンゼルス全地区2番目に低レベルの高校において、学力改善の為に立ち上がったエド・ロビラード博士がプログラムを導入。導入後3年間の学力推移指標が地区54校中1位となった。学業成績の平均指標(API)においては、導入3年で100ポイント向上した。

【学業成績平均指標の推移】



表面観察だけでは見逃してしまう生徒の潜在能力!

問題児?

- 朝までゲームごんまいで授業中に居眠り。
- 海外のスポーツ中継を徹夜で見て寝不足。
- マンガだけは一心不乱に読んでいる。
- 成績にムラがある。
- クラブ活動に夢中で勉強がおろそか。
- 成績は悪いが英語の歌を口ずさんでいる。
- 校外での交友関係が派手。

優等生?

- 朝まで勉強するのが苦にならない。
- クラブ活動で実績をあげている。
- 他人に負けない得意科目がある。
- わからないことがあると徹底的に調べる。
- 部活動でリーダーシップを発揮。
- なにごとにも真摯にとりくむ。
- 校外の地域活動にも参加。

この生徒たちは、実は同等の能力に恵まれているのです。

この事実本人が気づくことから、
すべてが始まります。

一人でも多くの生徒たちに、平等に成功の機会を見つけてほしい。そんな想いから、BWFジャパンでは、学校法人に対して無償にて、13歳から27歳の青少年が所属するアマチュア民間団体(スポーツ・クラブ・塾等)に対しては団体料金にてご提供しております。PX2プログラム導入に関してのお問合せは、当財団事務局までご連絡ください。

BWF OFFICERS



ルー・タイス BWF 代表 The Pacific Institute 会長

アメリカ・ワシントン州生まれ。シアトル大学卒業後、ワシントン大学で教育学、精神衛生学の修士号を取得。シアトルでの高校教師生活を経て、人間が成功するための心の仕組みを研究。独自の教育プログラムIIEを開発し、1971年にTPI (The Pacific Institute)を設立。現在、TPIプログラムはフォーチュン500社の約62%にのぼる企業に導入され、米国ではNASA、国防総省をはじめとした連邦政府機関、各州政府、警察、小中学校、さらに主要な大学などの教育プログラムとして公式に採用されている。



苫米地英人 BWFジャパン代表(米国BWF理事兼務)

マサチューセッツ大学を経て、1983年上智大学外国語学部英語科卒業。イェール大学大学院計算機科学科博士課程を経て、カーネギーメロン大学大学院哲学科計算言語学専攻科博士課程修了(Ph.D.)。現在同大学CyLabフェロー。通商産業省情報処理振興審議会専門委員など。著書に『まずは親を超えなさい!』等。

PX2プログラムの製作には、以下の心理学者の方々にご協力をいただいています。

アルバート・バンデューラ(スタンフォード大学心理学部教授)

マーティン・セリグマン(ペンシルバニア大学心理学部教授/元全米心理学会理事長)

ゲーリー・レイサム(トロント大学教授/元カナダ心理学協会会長)

グレン・テリル(元ワシントン州立大学学長/全米心理学会評議員/全米科学連盟評議員) 他、多数

BWF(The Better World Foundation)とは?

ルー・タイスによって設立された、地球人として国境を越えて共同していける次世代のリーダーを育成し、環境や貧困問題など世界規模の課題に応えられる人材を育成することを目標とする、アメリカに本部を置く非営利団体です。BWFジャパンは、BWFの日本事務局として活動する一般財団法人です。

お問い合わせ・お申し込みはBWFジャパンサイトから

<http://www.bwfjapan.or.jp>

一般財団法人 BWFジャパン 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-22-7 道玄坂ピア4F TEL 03-5785-4288 FAX 03-5772-1127